

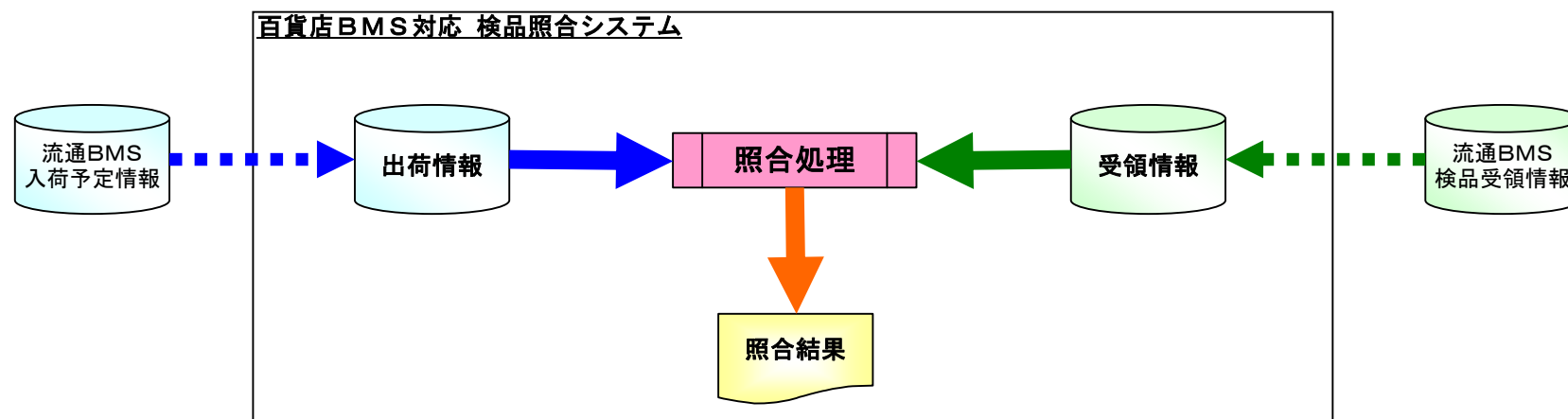
目次	システム	作成日	作成者		更新日	更新者	
	百貨店BMS対応 出荷照合システム	2011/11/1	EXSaS	松崎	2012/3/12	EXSaS	松崎

百貨店BMS対応 出荷照合システムのご紹介

1. 出荷照合システムについて
2. 画面例・帳票例
 - 1) マスタメンテナンス画面
 - 2) アプリケーション画面
 - 3) 帳票例
3. 各種データベースについて

出荷照合システムについて	システム	作成日	作成者		更新日	更新者	
	百貨店BMS対応 出荷照合システム	2011/11/1	EXSaS	松崎	2012/3/12	EXSaS	松崎

百貨店BMS対応 出荷照合システムについて



出荷照合システムは弊社のパッケージ「E x 照合(旧:売掛照合システム)」の照合機能(照合エンジン)部分を百貨店流通BMSに対応させ、入荷予定情報と検品受領情報の照合に特化したパッケージです。

入荷予定情報と検品受領情報の照合に特化する事により、簡単な操作性と照合処理の高速化を実現しています。

- ・ 出荷情報と検品情報を照合する事により、出荷された商品の受入状況が受入直後(翌朝)に把握できます。
- ・ 照合結果は「マッチング」「アンマッチ」「差異組合せ」の3種類が利用頂けます。
照合結果は印刷またはCSVデータとして提供されますので、ご利用し易い方法で運用頂く事ができます。
- ・ 「差異組合せ」の結果は「数量違い」の内容のみが記載されますので、追跡調査や伝票訂正にご利用頂けます。
- ・ 出荷情報と検品情報の取り込みは自動的に行なわれるので、毎朝「照合処理」を実施し、照合結果を確認するだけです。
- ・ 伝票発行システムと異なり、百貨店ごとの差異が小さいので、当システム導入後に新しい百貨店との取引が増えても、新たにシステムを追加する必要はありません。

マスタメンテナンス画面例	システム	作成日	作成者		更新日	更新者	
	百貨店BMS対応 出荷照合システム	2011/11/1	EXSaS	松崎	2012/3/12	EXSaS	松崎

マスタメンテナンスの画面例

ここでは出荷照合システムで利用するマスタの設定を行うプログラムのご説明を行います。

マスタメンテナンス画面例	システム	作成日	作成者		更新日	更新者	
	百貨店BMS対応 出荷照合システム	2011/11/1	EXSaS	松崎	2012/3/12	EXSaS	松崎

マスタメンテナンス画面例1－①: 照合定義マスタ

照合定義マスタメンテナンス

F3:削除 複写

百貨店コード 203 高島屋

照合基本情報 照合パターン・1回目 照合パターン・2回目 照合パターン・3回目

照合キー定義

伝票番号項目
218:発注伝票番号

その他のキー項目

1 216:発注伝票行番号
2 167:納入先GLN
3 230:品別番号
4
5
6
7

照合項目
1002:照合用数量

☐ 伝票番号を右詰（数値）として管理する。

伝票番号編集

出荷側伝票番号 0 桁目から 0 桁
受領側伝票番号 0 桁目から 0 桁

☒ 差異組合せとする

F9:登録 F2:取消 F12:終了

照合定義マスタ

百貨店単位に照合に利用するキー項目を指定します

照合に利用できる項目は、流通BMSで定義された項目で、入荷予定・検品受領の双方に存在する項目か、またはシステムが管理する項目となります。

伝票番号項目は桁揃え機能の利用ができます

入荷予定の伝票番号(13桁)のうち、伝票番号の一部分しか検品受領で返信しない百貨店がある場合、伝票番号の桁揃え機能を利用して照合する事ができます。

照合キー項目の組合せは最大3パターン

伝票番号でマッチしない場合、店舗とJANで照合する…などの各種パターンの定義ができます

マスタメンテナンス画面例	システム	作成日	作成者		更新日	更新者	
	百貨店BMS対応 出荷照合システム	2011/11/1	EXSaS	松崎	2012/3/12	EXSaS	松崎

マスタメンテナンス画面例1－②： 照合定義マスタ

検品照合に利用する照合定義の例

照合キー定義

伝票番号項目
219:発注伝票番号 ▼

その他のキー項目

1 218:発注伝票行番号 ▼

2 ▼

3 ▼

4 ▼

5 ▼

6 ▼

7 ▼

照合項目

1002:照合用数量 ▼

上記設定の場合（デフォルト値）
伝票番号＋伝票行No.をキー項目とし、
数量を照合項目としています。

照合キー定義

伝票番号項目
▼

その他のキー項目

1 167:納入先GLN ▼

2 230:品別番号 ▼

3 7:商品コード（GTIN） ▼

4 ▼

5 ▼

6 ▼

7 ▼

照合項目

1002:照合用数量 ▼

上記設定の場合
店舗コード＋品別番号＋JANコードをキー項目とし、
数量を照合項目としています。
（伝票番号を無視して照合を行なう事ができます）

照合定義マスタの照合キー定義

- ・照合キーの定義は百貨店様ごとに任意に変更して頂く事ができます。
このため、高島屋では「伝票番号と行番号で照合」、
そごう西武では「伝票番号とJANコードで照合」などの
照合方法の定義が可能です。
- ・入荷予定（梱包）で出荷情報を提供されている場合
梱包No.を含めた照合も可能となります。

マスタメンテナンス画面例	システム	作成日	作成者		更新日	更新者	
	百貨店BMS対応 出荷照合システム	2011/11/1	EXSaS	松崎	2012/3/12	EXSaS	松崎

マスタメンテナンス画面例1－③： 照合定義マスタ

照合定義マスタメンテナンス

F3:削除 複写

百貨店コード 203 高島屋

照合基本情報 照合パターン・1回目 照合パターン・2回目 照合パターン・3回目

照合実施回数 2 (0～3のみ指定可能)

入荷予定データの種類

☒ 伝票 ☐ 梱包

照合用に利用する日付 (伝票日付)

☒ 180: 納品予定日 ☐ 098: 出荷予定日

照合に利用する数量

☐ 173: 納品実検品数量 ☒ 174: 納品受入確定数量

照合メモ

F9:登録 F2:取消 F12:終了

照合定義マスタ (照合基本情報)

百貨店ごとに入荷予定の種類を指定できます

百貨店により「伝票」「梱包」のどちらを利用しているかを定義する事ができます。
この定義により、印刷されるリストのレイアウトが変わります。
(梱包の場合、リストに梱包No.欄が印刷されます)

百貨店ごとに照合に利用する項目を変更できます

百貨店の仕様により流通BMSで定義された項目のうち、利用する項目が異なる場合がありますが、百貨店ごとの違いを照合定義マスタで吸収する事ができます。

マスタメンテナンス画面例	システム	作成日	作成者		更新日	更新者	
	百貨店BMS対応 出荷照合システム	2011/11/1	EXSaS	松崎	2012/3/12	EXSaS	松崎

マスタメンテナンス画面例2: 帳票出力定義マスタ

帳票出力定義マスタメンテナンス

F3:削除

複写

百貨店コード

203

高島屋

独立型

統合型

差異組合せ

印刷順・改頁定義

印刷順

改ページ

1

1001:照合用日付

2

167:納入先GLN

3

230:品別番号

4

219:発注伝票番号

5

216:発注伝票行番号

改頁なし

グループインジケート定義

☐ 日付

☐ 店舗情報

☐ 伝票番号

☐ 梱包No

数量の小数点の定義

☒ 小数点は印字しない

☐ 小数1桁を印字

☐ 小数2桁を印字

店舗に関する情報の印字定義

店舗欄のタイトル

店舗/売場

店舗コード

☒ 店舗コードを印字

☐ GLNコードを印字

☐ 印字しない

店舗名称

☒ 店舗略称を印字

☐ 正式店舗名称を印字

☐ 印字しない

☒ 売場(品別番号)を印字する

商品に関する情報の印字定義

商品欄のタイトル

型番/色・サイズ/JAN

商品欄に印字する項目

☐ 百貨店商品コード

☒ 取引先型番

☒ JAN(GTIN)

☐ 百貨店商品補助コード

☐ 取引先型番補助コード

☐ 商品名称

☐ 取引条件コード

☒ メーカー/サイズ

☐ 商品名称カナ

帳票出力定義マスタ

お客様ごとに異なる印刷物に必要な情報をきめ細かく設定する事ができます。

- 印刷順や改頁を行なうかどうかを指定する事ができます。
- グループインジケートを行なう項目を任意に指定する事ができます。
(グループインジケートは、同じ値が続く場合空白とし見やすくする機能です)
- 数量に小数点が必要かどうかを指定する事ができます。
- 店舗情報として何を印字するかを指定する事ができます。
- 商品情報として何を印字するかを指定する事ができます。

マスタメンテナンス画面例	システム	作成日	作成者		更新日	更新者	
	百貨店BMS対応 出荷照合システム	2011/11/1	EXSaS	松崎	2012/3/12	EXSaS	松崎

マスタメンテナンス画面例3: 流通BMS項目定義マスタ

流通BMS項目定義マスタメンテナンス

項目No	流通BMS項目名	項目属性	表示名称	通常	伝票番号	照合項目	ソート	CSV
48	216 発注伝票行番号	数値	発注伝票行番号	☒	☐	☐	☒	☐
49	219 発注伝票番号	数値	発注伝票番号	☒	☒	☐	☒	☐
50	220 発注日	日付	発注日	☐	☐	☐	☐	☐
51	223 百貨店企業GLN	文字(半角)	百貨店企業GLN	☐	☐	☐	☐	☐
52	224 百貨店企業名	文字(全角)	百貨店企業名	☐	☐	☐	☐	☐
53	227 百貨店商品コード	文字(半角)	百貨店商品コード	☒	☐	☐	☒	☐
54	230 品別番号	文字(半角)	品別番号	☒	☐	☐	☒	☐
55	254 梱包内数量	数値	梱包内数量	☐	☐	☐	☐	☐
56	269 小売指示売単価税抜	数値	小売指示売単価税抜	☐	☐	☐	☐	☐
57	284 カラー名称半角カナ	文字(半角)	カラー名称半角カナ	☐	☐	☐	☐	☐
58	285 サイズ名称半角カナ	文字(半角)	サイズ名称半角カナ	☐	☐	☐	☐	☐
59	287 商品名称半角カナ	文字(半角)	商品名称半角カナ	☐	☐	☐	☐	☐
60	369 百貨店企業コード	文字(半角)	百貨店企業コード	☒	☐	☐	☒	☐
61	370 仕入企業コード	文字(半角)	仕入企業コード	☒	☐	☐	☒	☐
62	371 仕入企業事業所コード	文字(半角)	仕入企業事業所コード	☒	☐	☐	☒	☐
63	392 販売場所コード	文字(半角)	販売場所コード	☒	☐	☐	☒	☐
64	393 百貨店商品補助コード	文字(半角)	百貨店商品補助コード	☒	☐	☐	☒	☐
65	394 検品番号	文字(半角)	検品番号	☐	☐	☐	☐	☐
66	1001 照合用日付	日付	照合用日付	☒	☐	☐	☒	☒
67	1002 照合用数量	数値	照合用数量	☐	☐	☒	☐	☒

新しい項目を追加

F9: 登録 F2: 取消 F12: 終了

流通BMS項目定義マスタ

- ・流通BMSで定義された項目および出荷照合システムで管理する項目を管理するマスタです。
- ・各アプリケーションで定義されている項目を利用するかどうかなどを指定します。(基本的にはご導入時のままで問題ございません)
- ・各アプリケーションで表示される項目名称をお客様がわかりやすい名称に変更する事ができます。

アプリケーション画面例	システム	作成日	作成者		更新日	更新者	
	百貨店BMS対応 出荷照合システム	2011/11/1	EXSaS	松崎	2012/3/12	EXSaS	松崎

アプリケーションの画面例

ここでは出荷照合システムで利用するアプリケーションプログラムのご説明を行います。

アプリケーション画面例	システム	作成日	作成者		更新日	更新者	
	百貨店BMS対応 出荷照合システム	2011/11/1	EXSaS	松崎	2012/3/12	EXSaS	松崎

アプリケーション画面例1: 自動照合処理

自動照合処理

百貨店コード

203

高島屋

F12:終了

照合前件数

	出荷側	受領側
全体件数	0	0
未照合の件数	0	0

照合後件数

	出荷側	受領側
全体件数	0	0
未照合の件数	0	0
照合された件数	0	0
差異組合せ件数	0	0

出荷照合処理を行います

読込件数

0

照合件数

0

差異組合せ数

0

F9:開始

F2:取消

照合処理

- ・実際に照合を行う画面です。
- ・照合処理では、照合定義マスタに登録された照合方法に沿って、照合を行います。
- ・照合結果は画面上に随時表示されます。最終的に画面右上の「照合後件数」を確認頂く事で照合結果を確認頂く事ができます。

アプリケーション画面例	システム	作成日	作成者		更新日	更新者	
	百貨店BMS対応 出荷照合システム	2011/11/1	EXSaS	松崎	2012/3/12	EXSaS	松崎

アプリケーション画面例2: 差異組合せ消込処理（組合せNo.指定型）

差異組合せ消込処理

百貨店

203

高島屋

	組合せNo.	店..	店名	品別番号	伝票番号	行	品番	型番	出荷側数量	検品側数量	数量差	差額
1	1026369	02	大阪店	0123	0123456019673	1	0032 04352	15011110 03 38	3	2	-1	-28,520
2	1026371	02	大阪店	0123	0123456019673	5	0038 04352	81611101 03 40	1	0	-1	-21,080
▶ 3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												

備考 1

備考 2

合計数量差

-2

合計差額

-49,600

F9:登録

F2:取消

F12:終了

差異組合せ消込処理

差異組合せとなったもの(差異の発生したもの)は、差異の原因が判明した場合などにこの画面で消込を行なう事ができます。

- ・ 組合せNo.指定型では、差異組合せリストに印刷された組合せNo.を入力して指定する事で消込を行なう事ができます。
- ・ 備考欄に差異の理由などを登録しておく事ができます。

アプリケーション画面例	システム	作成日	作成者		更新日	更新者	
	百貨店BMS対応 出荷照合システム	2011/11/1	EXSaS	松崎	2012/3/12	EXSaS	松崎

アプリケーション画面例3: 差異組合せ消込処理（一覧選択型）

 差異組合せ消込処理

百貨店

		組合せNo	店	店名	品別番号	伝票番号	行	品番	型番	出荷側数量	検品側数量	数量差	差額
1	☒	1026369	02	大阪店	0123	0123456019673	1	0032 04352	15011110 03 38	3	2	-1	-28,520
2	☐	1026370	02	大阪店	0123	0123456019659	5	0032 04352	90111113 37 38	1	0	-1	-39,680
▶ 3	☒	1026371	02	大阪店	0123	0123456019673	5	0038 04352	81611101 03 40	1	0	-1	-21,080

備考1

備考2

合計数量差

合計差額

F9:登録 F2:取消 F12:終了

差異組合せ消込処理

差異組合せとなったもの(差異の発生したもの)は、差異の原因が判明した場合などにこの画面で消込を行なう事ができます。

- ・一覧選択型では、差異組合せリストの内容が画面上に表示され、消込を行ないたい組合せを指定（チェックを付ける）事で消込指示ができます。
- ・備考欄に差異の理由などを登録しておく事ができます。

帳 票 例	システム	作成日	作成者		更新日	更新者	
	百貨店BMS対応 出荷照合システム	2011/11/1	EXSaS	松崎	2012/3/12	EXSaS	松崎

帳 票 例

ここでは出荷照合システムで印刷を行う帳票のご説明を行います。

帳 票 例	システム		作成日	作成者		更新日	更新者	
	百貨店BMS対応 出荷照合システム		2011/11/1	EXSaS	松崎	2012/3/12	EXSaS	松崎

帳票例1: アンマッチリスト (独立型)

*** アン マ ッ チ リ ス ト ■ 出 荷 側 ■ ***

2012/03/12

21:52:18

1 / 6

百貨店 203 高島屋

明細番号	伝票日付	店舗/売場	売場	伝票番号-行	型番/色・サイズ/JAN	数量
2032936	2012/02/22	02 大阪店	0123	0123456019659 5	90111113 37/38 スカート	1
2032939	2012/02/22		0123	0123456019673 1	15011110 03/38 スカート	1
2032943	2012/02/22		0123	5	81611101 03/40 パンツ	1
2033125	2012/02/23	21 新宿店	0123	0123456021850 1	14011104 25/40 ジャケット	1
2033127	2012/02/23		0123	2	14011104 05/38 ジャケット	1
2033128	2012/02/23		0123	3	90111115 05/38 スカート	1
2033129	2012/02/23		0123	4	90111115 03/40 スカート	1
2033130	2012/02/23		0123	5	15011107 25/40 スカート	1
2033131	2012/02/23		0123	6	15011107 05/38 スカート	1
2033132	2012/02/23		0123	7	09111101 03/38 ワンピース	1
2033133	2012/02/23		0123	8	90111115 03/38 スカート	1
2033134	2012/02/23		0123	9	90111113 37/38 スカート	1
2033126	2012/02/23		0123	10	90111113 43/38 スカート	1
2033135	2012/02/23		0123	0123456021867 1	81611110 17/38 パンツ	1
2033136	2012/02/23		0123	2	81611101 03/36 パンツ	1
2033137	2012/02/23		0123	3	22711101 43/38 コート	1
2033138	2012/02/23		0123	4	20411121 03/38 ジャケット	1
2033139	2012/02/23		0123	0123456021881 1	21311101 01/02 ブラウス	1

アンマッチリスト

- ・出荷情報と検品情報の照合の結果、マッチングしなかったもの（未受領のもの）をリストアップした資料です。
- ・独立型の場合、出荷情報と検品情報はそれぞれ別の資料として印刷されます。

※出荷情報の追跡と検品情報の追跡の担当者が異なる場合などは、こちらの資料の方が利用し易いと思います。

※アンマッチリストと同じレイアウトで照合済のものだけを印刷した「マッチングリスト」もパッケージに含まれています。

この例では店舗と伝票番号がグループインジケートされています。また商品情報欄にはJANの代わりに商品名が印字されています。
これらの設定は「帳票出力定義マスタ」にて自由に定義して頂く事ができます。

帳 票 例	システム	作成日	作成者		更新日	更新者	
	百貨店BMS対応 出荷照合システム	2011/11/1	EXSaS	松崎	2012/3/12	EXSaS	松崎

帳票例2: アンマッチリスト（統合型）

*** アンマッチリスト ***

2012/03/12 21:59:10

5 / 5

百貨店 203 高島屋

明細番号	伝票日付	店舗／売場	売場	伝票番号-行	型番／色・サイズ／JAN	出荷側数量	検品側数量
2033172	2012/02/23	25 米子店	0123	0123456022215 1	24811103 03/38	1	
2033173			0123	0123456022215 10	24811107 16/40	1	
2033174			0123	0123456022215 2	24811103 05/38	1	
2033175			0123	0123456022215 3	24811103 02/40	1	
2033208		02 大阪店	0123	0123456019659 5	21511113		0
2033211			0123	0123456019673 1	01511110		0
2033215			0123	0123456019673 5	21611101		0

アンマッチリスト

- ・ 出荷情報と検品情報の照合の結果、マッチングしなかったもの（未受領のもの）をリストアップした資料です。
- ・ 統合型の場合、出荷情報と検品情報がひとつのリストに混在して印刷されます。（ソート順の指定により、混在の仕方は異なります）

※出荷情報の追跡と検品情報の追跡の担当者が同じ場合などは、こちらの資料の方が利用し易いと思います。

※アンマッチリストと同じレイアウトで照合済のものだけを印刷した「マッチングリスト」もパッケージに含まれています。

この例では伝票日付と店舗がグリーンインジケートされています。（前頁の例と異なり、伝票番号はグリーンインジケートされていません）
これらの設定は「帳票出力定義マスタ」にて自由に定義して頂く事ができます。

帳 票 例	システム	作成日	作成者		更新日	更新者	
	百貨店BMS対応 出荷照合システム	2011/11/1	EXSaS	松崎	2012/3/12	EXSaS	松崎

帳票例3: 差異組合せリスト

*** 差異組合せリスト ***						2012/03/12	22:07:24	1 / 1
百貨店 203	高島屋							
差異照合No	伝票日付	店舗/売場	売場	伝票番号-行	型番/色・サイズ/JAN	出荷側数量	検品側数量	
1026370	2012/02/22	02 大阪店	0123	0123456019659	5 90111113 37/38 スカート	1	0	
1026369	2012/02/22	02 大阪店	0123	0123456019673	1 15011110 03/38 スカート	3	2	
1026371	2012/02/22	02 大阪店	0123	0123456019673	5 81611101 03/40 パンツ	1	0	

差異照合リスト

- ・ 出荷情報と検品情報の照合の結果、キー項目は一致しているものの照合項目（数量）が異なる組合せを印刷するものです。
- ・ キー項目の代表的な項目が印字され、出荷側数量・検品側数量がそれぞれ印刷されます。

各種データベースの利用について	システム	作成日	作成者		更新日	更新者	
	百貨店BMS対応 出荷照合システム	2011/4/30	EXSaS	松崎	2012/3/12	EXSaS	松崎

出荷照合システムは Access・SQLserver・Oracle に対応したマルチDBパッケージです

		Access MDB	SQLserver Express	SQLserver	Oracle
データベース費用		無償	無償	有償	有償
対応バージョン		Access 2003 以降	SQLsever 2005 以降	SQLsever 2005 以降	Oracle 10g以降 (10.2.0.2以降)
利用可能認証方式		-	SQLserver認証 (Windows認証は未対応)	SQLserver認証 (Windows認証は未対応)	Oracle認証 (OS認証は未対応)
利用可能文字コード		-	シフトJIS (CP932)	シフトJIS (CP932)	シフトJIS (JA16SJISILDEを推奨)
運用方法	スタンドアロン運用	推奨	可能	不可 (対応する事は可能)	不可 (対応する事は可能)
	ネットワーク運用	不可 (推奨しておりません)	可能	推奨	推奨
障害対応	端末障害時	他端末を利用しての復旧が容易	他端末を利用しての復旧は、難しい(*1)	他端末を利用しての復旧が容易	他端末を利用しての復旧にはOracleClientのインストールが必要
	ネットワーク障害時	ネットワーク対応しないため影響は限定的	SQLserver Express の稼動する端末での運用は可能	ネットワーク復旧を待つ必要がある	ネットワーク復旧を待つ必要がある
	データベース障害時	復旧は容易	復旧は比較的難しい	即時復旧は困難	即時復旧は困難
	データベース障害発生頻度	他と比較すれば多い(*2)	稀	極めて稀	極めて稀
他のデータベースへの移行		容易	容易	容易	容易 一時的にMDB化後にSQLserverに移植します

*1 : SQLserver Express がインストールされた端末が故障した場合を想定。アプリのみがインストールされた端末の故障は、再インストールのみとなるので復旧は容易です。

*2 : AccessMDBはサーバー型のデータベースと比較すれば障害発生率は高いと言えますが、データベース障害が発生する事は稀です。